

動物検疫所神戸支所苅藻検疫場 検査棟



中日本係留検査施設グループの中核検査施設として整備し、BSL2 及び国際基準に則した検査室として高度化を図る



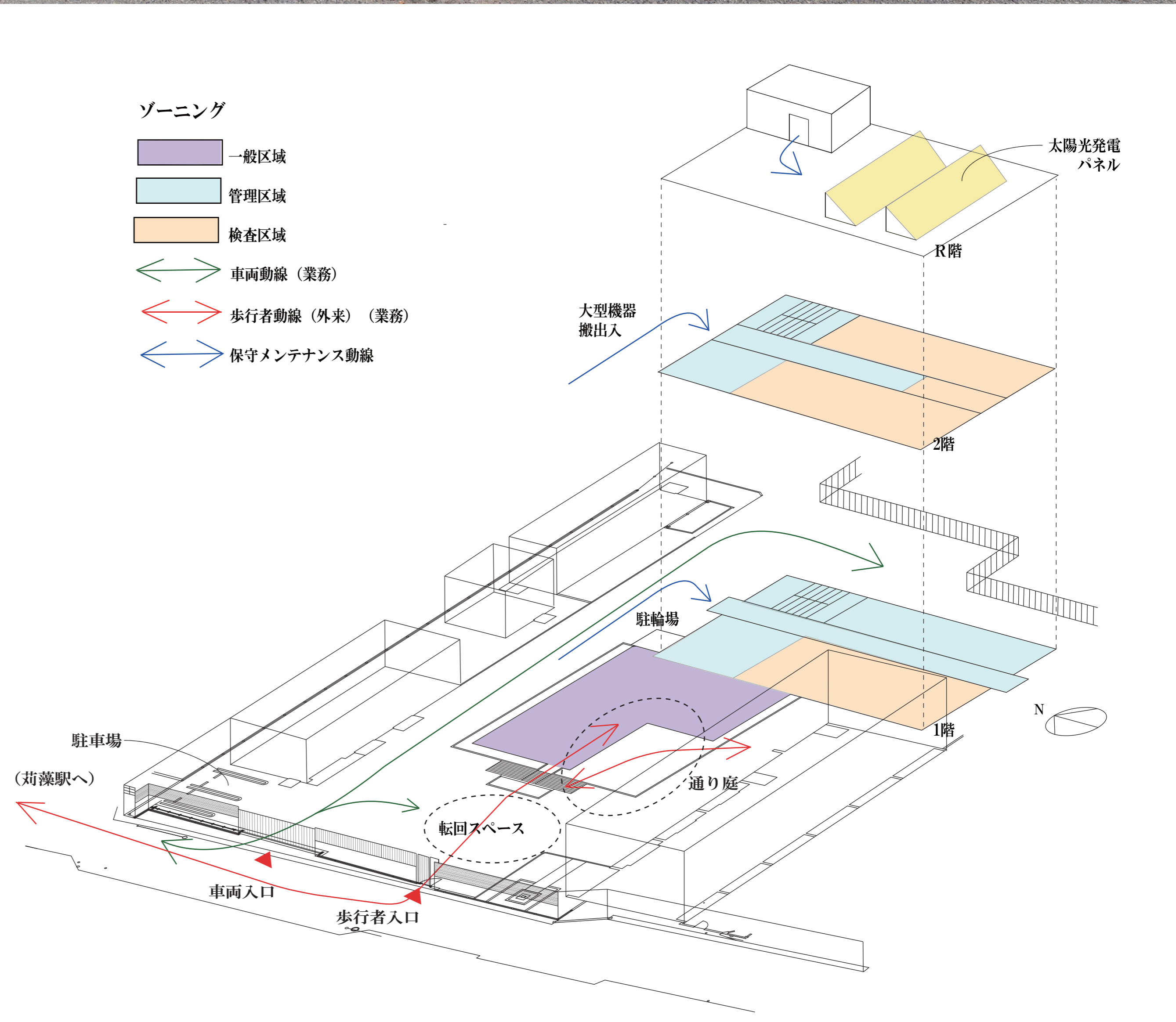
ポーチから通り庭を臨む



エントランスホールから通り庭を臨む



(鳥瞰) 通り庭を臨む



計画概要
動物検疫所神戸支所苅藻検疫場は「動物検疫所係留施設の再編・整備に関する基本計画」において係留施設機能及び中核検査施設機能を担う中日本係留検査施設グループの拠点として位置づけられている。しかしながら既存検査施設の「検査室」及び「第2検査室」は、それぞれ昭和43年及び同62年に竣工し、度重なる改修を行ってきたものの老朽化が著しく、また近年の輸入動物の増加や高度検査機器の導入に伴い狭隘となり、中核検査施設として本来の機能を十分に果たせない状況にある。本計画では係留検査機能の強化及び効率的・効果的な係留検査体制の構築にあたり、中核検査施設として検査室の高度化を図るべく「検査棟」の建て替え整備を行う。

設計主旨

1. 検査機能の充実、検査精度の向上
BSL2に指定された微生物等を取り扱う検査施設として、「動物検疫所微生物等管理要領」に適合する機能を有し、一般、管理、検査各区域のゾーニングと外来、保守・メンテナンス、業務各動線を適切に配置する。また、近年主流となっている遺伝子検査を実施する検査諸室では、検査精度の向上に配慮し各検査に求められる条件に即した空気環境の設計とする。
2. 周辺環境への配慮
敷地はその南西の一部を運河に面した臨港地区内にあり、外観を神戸市の定める「神戸港カラー作戦」に則りクリーム色系を基調とした周辺建物と調和させる。また敷地内において、検査棟は端正な窓の配置や緑豊かな通り庭の整備によって既存係留施設と機能的に対比させながら、基準色としている「茜色」系を外観の一部意匠に取り入れ全体の調和を図る。
3. 地球環境への配慮
屋上に設置する太陽光発電パネル、複層ガラスの採用やブラインドの設置などにより一次消費エネルギーの低減を図り、地球環境に配慮した建物とする。また、検査で使用する薬品等の排水処理にあたり、その排水ルートと一般排水ルートとは別に整備し、適切な管理と保守・メンテナンスが可能なものとする。その他、海辺に隣する敷地の気候特性に配慮し、外気にさらされる部分については耐塩害性の高い材料を選定し建物の長寿命化に貢献する。

建築概要

施設名称：動物検疫所神戸支所苅藻検疫場検査棟
所在地：神戸市長田区苅藻通7丁目1-7
地区・地域：市街化区域内
工業専用地域
準防火地域
臨港地区

主要用途：検査等施設
敷地面積：14,144 m²
建築面積：476 m² (建築基準法)
延床面積：807 m² (建築基準法)
構造形式：鉄筋コンクリート造
階数：地上2階建て
発注者：近畿地方整備局
設計者：(基本設計) 近畿地方整備局 営繕部
(実施設計) 株式会社 都市環境設計
工事監理者：未定
工事施工者：未定